



Power Guard-48(左)
Power Guard-15(右)

ディテイル表現の向上に驚いた！ フィルターを内蔵したフルテックの新電源ケーブルとは

小原由夫

各種ケーブルやオーディオアクセサリで多数のラインナップを擁するフルテック。同社からこの度、オーディオ用ノイズフィルターを搭載した電源ケーブル2種が発売された。早速試したところ、抜群の効能が実感できたのでご報告したい。

昨今、家庭内の商用AC電源環境はどんどん劣悪になっていると言わざるをえない。各種インバーター回路やマイコンを内蔵した家電製品、さらにパソコン等のデジタル機器の一般化に伴ない、オーディオビジュアルを実践していくうえで不利になり得るノイズ源が増えているからだ。そうした状況に対し、フルテックは2010年以来、電源ケーブルとAV機器間、あるいは電源タップに用いるアダプタータイプのフィルター内蔵型アクセサリ等を手掛けてきた。

今回試用したのは、Power Guard 48と同15だ。双方の特徴は、IECコネクタ部にF168というインラインフィルターを内蔵していること。直列コイルとコンデンサーで構成されるフィルター回路により、100kHzで約8dB、500kHzで約14dBのノイズ減衰性能があるというから、昨今増えつつあるスイッチング電源搭載のAV機器には、特に高い効果を発揮するものと思われる。また、F168の本体は、ナイロン+グラスファイバーと特殊なステンレスファイバーを一定比率で配合させたも

ので、EMI（電磁妨害）遮蔽効果と併せ、振動や電磁ノイズを除去するスタビライザー効果も期待できる。しかも、より徹底した振動軽減を図るべく、エポキシ材を充填したカスタムメイド仕様となっているのだ。

一般にこの種のノイズフィルターは前述のように個別のアダプター形式であり、電源ケーブル等に別途差し込むタイプが多い。本機はそれをインレットに内蔵したことで、接点を減らすと共に、省スペースと実用性を高めたわけである。

Power Guard 48と15は、いずれも同じフィルター内蔵IECコネクタを使っており、線材自体にはPCTripie Cを採用。特殊耐熱グレイドPVCの絶縁材、柔軟性の高いPVC外装も共通している。異なるのは、導体の太さ/本数/外径と、電源プラグである。Power Guard 48は、太い導体で、電源プラグはより高級な仕上りのF148M(R)。このプラグ自体には、ナイロン+グラスファイバーに、ナノ単位の特種セラミックパウダーとカーボンパウダーを一定比率で混入させ、高い振動吸収効果を発揮する素材を採用している。ハウジングは非磁性ステンレス製だ。また、ハウジングと電極部の取付けネジと電位差を解消するアースジャンパー機能を進化させたショートリング機能にも注目だ。Power Guard 15に使われたF115MPlus(R)は、ハ

FURUTECH POWER CABLE

Power Guard-48

¥59,000+税

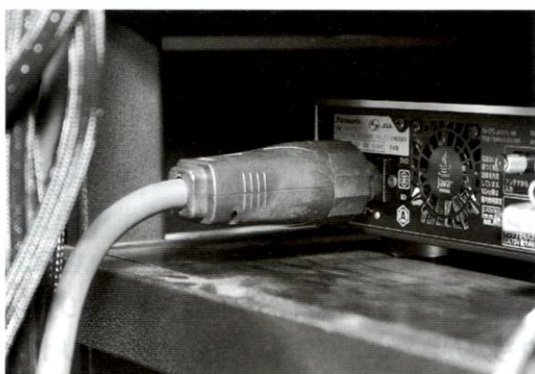
●ケーブル長：150cm ●導體：PC Triple C ●外径：16mm

●問合せ先：フルテック(株) ☎03(5437)0281

Power Guard-15

¥37,000+税

●ケーブル長：150cm ●導體：PC Triple C ●外径：12.8mm



↑取材は小原さんのシアタールームにて行なった。Power Guard-48をSC-LX88(上)に、同15をDMR-UBZ1(下)にそれぞれ使用した

ウジング一体型のナイロン+グラスファイバー仕様。前記のアースジャンパー機能が設けられている。いずれも接点部は非磁性ロジウムメッキ純銅素材に、フルテック独自の極低温処理「αプロセス処理」が施されている。

今回、Power Guard 48をバイオニアのAVセンターSC-LX88に、Power Guard 15をパナソニックのBDレコーダーDMR-UBZ1にそれぞれ使ってみた。

アンプの力感を損なわず 微細な表現力が向上した

私のこれまでの経験から、特に電力を要するアンプ系でノイズフィルターを使用した場合、クリーンな音にはなるものの、何となく力感がなくなるといふか、エネルギー密度が薄まったように感じるが多かったのだが、それは主

にフィルターに採用されているコイルが小さく、そこでエネルギーが損なわれていることが原因として考えられた。

しかし、本品のコイルは十分に太いようので、SC-LX88で用いても力感が減退するような印象はまったくなかった。むしろLX88内蔵のスイッチング電源に対する効果が高いよう、微細な表現力が向上したうえ、LX88持ち前のトランジェント感の高さに加え、ここぞというところでの余裕のパワーさえ感じられるようになったのである。

しかし、驚いたのはDMR-UBZ1の方だ。鮮鋭感、発色が素晴ら

メガネ型インレットに対応 Flow-08の効果は?

今回はメガネ型インレットに3ピンタイプの電源ケーブルを組み合わされる、Power Guard-48等とまったく同等性能のフィルター内蔵型インレットコネクターを採用したFlow-08も併せてテストした。常用のパナソニックDMR-BRX6000では、ハイライト部が伸びるとともに時折散見された圧縮ノイズが目立ちにくくなる。音質もローエンドの力感が増し、メリハリがついた印象だ。(小原)



↑メガネ型インレットタイプのフィルター、Flow-08(¥16,000+税)も同時発売。BDレコーダーのほか、アダプターの形状によって、NASやノートPCにも使えるだろう



↑↓フィルターを内蔵したプラグFI-68は単品の販売もされている。ロジウムメッキ仕様の(R)は¥18,400+税、金メッキ仕様の(G)は¥16,000+税



しく、この精緻なディテイル表現は何なの!という感じなのだ。高解像度なフルHDコンテンツ(例えば4Kカメラで撮影した高精細BD等)が、限りなく4Kっぽく精細感を増す。サウンドもローエンドが厚くなり、磐石の安定感もたらされた。これでUHD BDソフトにどう効果があるか、今から楽しみで仕方がない。